

ジェンダーギャップに絶望しない／分断されない
そのためにロケとニセーションができること

わたしたちは わかりあえない からこそ展

BECAUSE WE CANNOT TRULY
UNDERSTAND EACH OTHER

An exhibition about the gender gap, and how we can communicate
about it instead of surrendering to despair and division

2026.2.1 Sun. – 2.28 Sat.

Wings Kyoto 1F Gallery Space / Admission Free

わたしたちは わかりあえない からこそ展

BECAUSE WE CANNOT TRULY
UNDERSTAND EACH OTHER

京都
巡回展

4万人以上が体験した アドミュージアム東京の企画展が京都に

日本のジェンダーギャップ指数は、148カ国中118位(2025年 WEF調査結果)。ジェンダーに関する意識や表現についてのあり方は、いまま模索と更新の途上にあります。本展はそうした現状に対して、広告の事例を通して、コミュニケーションにできることを問いかける試みです。“わかりあえない”の先にあるコミュニケーションの可能性や、今わたしたちにできることを一緒に探りませんか？

展示

EXHIBITION

映像、グラフィック、実物など国内外約50点以上の広告事例を、私たちの行動を促すキーワードに沿って紹介。

また、対話や思考を促す体験展示や東京展での来場者の声をもとにした展示も実施。

〈キーワード〉

新しくしてみる

声をあげてみる

データから考えてみる

問いかけてみる

決めつけをやめてみる

気づきをつくってみる

力を合わせてみる

してみる

いろんな視点に立ってみる

〈展示作品〉



「最終号」(Gazetta.pl, マスターカード、BNPパリバ)



「タンポンブック」(フィメール・カンパニー)



「#NoBagFor Me」(ユニ・チャーム「ソフィ」)



「#言葉の逆風：なぜ東京大学には女性が少ないのか？」
(東京大学 多様性包摂イノベーションセンタージェンダー・エクイティ推進オフィス)



「データから考えてみる」
体験展示



「してみる」
東京展での来場者記録展示

関連プログラム

RELATED PROGRAMS

“らしさ”について ～わかりあえないかもしれない、からはじまる対話～

本展の広告作品から社会にある“らしさ”について考察するトークイベントを開催。

男性性や“男らしさ”を小説家の白岩玄さんの作品や生き方から読み解いていきます。

開催日時：2026年2月22日(日) 14時～15時30分

登壇者：白岩玄(作家)、今井まゆり(ウィングス京都相談室長)

会場：ウィングス京都2階セミナー室

参加費：無料

定員：50名(要申込・先着順)



(申込フォーム)

わたしたちはわかりあえないからこそ展

会期：2026年2月1日(日)～2月28日(土)

会場：ウィングス京都1階ギャラリースペース

開館時間：月～土 10:00～19:30 日/祝日 10:00～17:00

最終入場は閉館の30分前 / 休館日：水曜日

入場料：無料

主催：京都市

共催：公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

協力：(株)電通 / (つづく) / (株)TBWA HAKUHODO

企画・運営：公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

お問い合わせ

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会 事業企画課

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262

TEL 075-212-8013 FAX 075-212-7460

E-MAIL jigyo@wings-kyoto.jp

アクセス

地下鉄烏丸御池駅(5番出口)、または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅(20番出口)下車徒歩約5分

※ 駐車場はからだの不自由な方の来館時や荷物の搬入用に限りさせていただきます。本施設へお越しの際は、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。

